

循環型社会形成への取り組み

基本方針

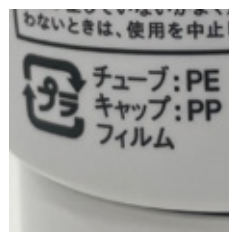
ファイントウデイグループは、「ファイントウデイグループ 環境基本方針」を定め、持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。

その中でも、循環型社会の実現は気候変動への対応と並ぶ重要なマテリアリティの一つとして位置付けており、資源の効率的な利用やリサイクルの推進に積極的に取り組んでいます。

また、2025年3月に当社グループは2030年までに容器に使用する石油由来バージンプラスチックを2022年に比べ原単位で25%以上削減する目標を掲げました。環境負荷の低い詰め替え製品の更なる拡大、製品の大容量化やサステナブル素材の採用を促進し、持続可能な社会の実現と事業の成長に取り組んでいきます。

容器包装における取り組み

ファイントウデイは、容器包装リサイクル法に基づき、製品容器に使用した資材の量を毎年算定し、同法で定められた指定法人へリサイクルを委託しています。また、容器包装のリサイクルを促進するため、製品にはパッケージに使用した資源の種類に関する情報を記載しています。



販促物における取り組み

ファイントウデイは、小売店などでの製品販売をサポートする各種の販売促進ツールを製作しています。こうした販促物は、売場でお客さまに製品の情報や世界観を伝えたり、陳列を補助したりする重要な役割を担っています。

しかし販促物は、使用が終わると廃棄され、予定どおりに使用されずに廃棄されるケースもあります。そこで販促物の廃棄量の削減や、販促物に使用する素材の変更を積極的に推進しています。

販促物の廃棄量の削減

ファイントウデイでは、販促物とその関連資材の廃棄量の削減に取り組んでいます。

• 不要なものの滞留をなくす活動

これまで販促物在庫が長期滞留するという問題がありました。そこで、活用が見込めない販促物については廃棄することとし、活用開始の翌日から実際に使うものと使わないものを分別。使わないものは毎月計画的に廃棄処理する対応を数年間かけて実施してきました。これにより、長期滞留する販促物の削減とともに販促物全体の廃棄量の削減につながっています。

• 販促物の効率的な発注

販促物は、必要量が必ずしも事前に明らかにならないという特性があります。そのため、製作した販促物の数量と、実際に使用する数量との間にギャップが生じるという課題があります。そこでファイントウデイでは、営業部門とマーケティング部門の連携の在り方を見直し、実際の売場の情報を多く持つ営業部門が、販促物の数量に関する意思決定を行う体制を整備。販促物を効率的に活用することで、無駄の削減を図っています。

物流における資源循環の推進

ファイントウデイは、国内用レンタルパレットを日中間の輸出入にも活用する「パレットラウンドユース」を業界を越えて4社で連携して推進。使い捨てパレットの削減に加え、積み替え作業の省略による物流の効率化を実現しています。業界を横断して協力体制を構築することで、資源の有効活用と環境負荷の低減を進め、循環型社会の形成に貢献しています。